

石狩市地域公共交通利便増進実施計画（概要）

- 石狩市では、南北に広い域内を縦断するように路線バスが運行していたが、利用者の減少や運転手不足により市街地以北の路線バス撤退を余儀なくされたため、地域住民の生活の足を確保・維持する事業として本町花川線／厚田花川線（デマンド交通）を新規導入し、地域内の移動円滑化を目指す。
- 市南西部の石狩湾新港地域では、令和5年度の路線バス撤退により、就業者の交通の足に課題を抱えており、自家用車がない者は就労できない状況であった。その対応策として“通勤デマンド”交通（AIデマンド交通）を本事業において導入・維持することで、操業事業者にも多角的な雇用の機会を保障し、経済的な見地からも市の発展に寄与することを目指す。
- 上記に加え、デマンド交通共通予約システム導入、交通結節点の停留所集約化等を図り、利便性の高いサービス提供を目指す。

事業の内容

事業Ⅰ 市内における公共交通の再編

- 通勤デマンド／本町花川線／厚田花川線の新規運行（イ）
 - 石狩湾新港の通勤需要に応える新交通の導入
 - 路線バス廃止地区における生活交通の確保維持

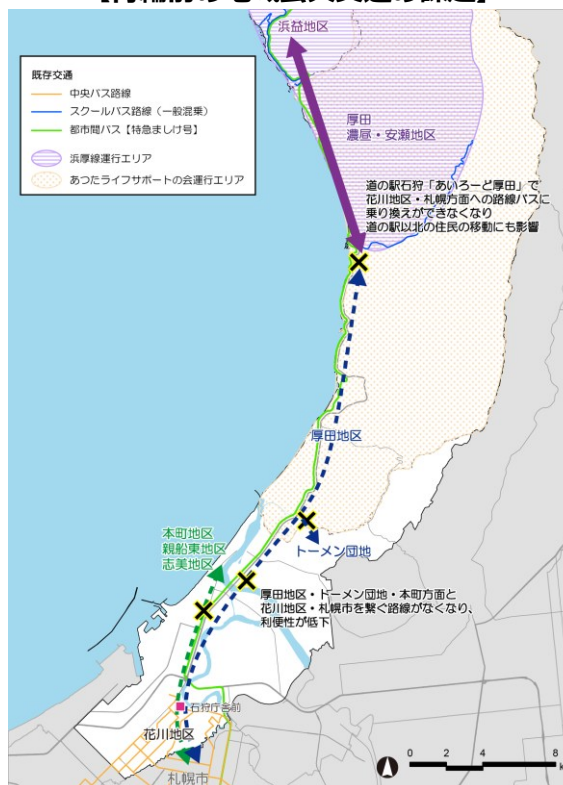
事業Ⅱ 利便性の高いサービス提供

- 交通結節点となる石狩庁舎前のバス停を集約化（ハ）
- 共通予約システム導入（ハ）
 - デマンド交通が複数運行されるため、混乱を生じないよう予約方法を一つのシステムに一元化
- キャッシュレス決済・割引制度導入（ロ・ハ）

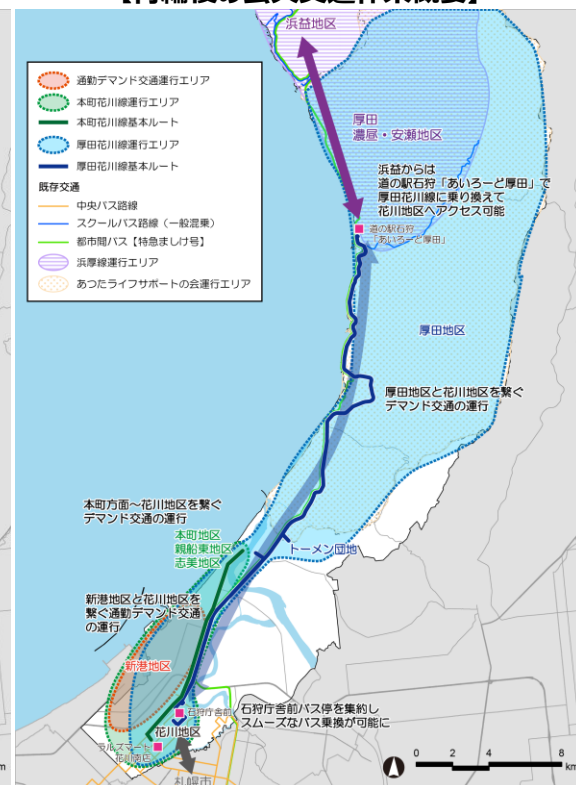
作成自治体
事業実施区域
事業実施予定期間
実施事業者

石狩市
石狩市全域
令和8年4月～令和13年3月
石狩市・石狩湾新港地域公共交通サービス推進協議会

【再編前の地域公共交通の課題】



【再編後の公共交通体系概要】



事業の効果

事業Ⅰ 市内における公共交通の再編

- ・地理的・時間的な交通空白の解消
- ・石狩湾新港への通勤手段確保による、自家用車がない方の就業意欲向上、操業事業者の送迎負担軽減
- ・市内医療・商業施設へのアクセス性の向上
- ・運行効率性向上による持続性向上

事業Ⅱ 利便性の高いサービス提供

- ・シームレスな乗継環境・予約環境構築による利用者の利便性向上
- ・利用しやすい運賃体系・支払い方法や分かりやすい情報提供による利便性向上及び公共交通利用促進